

ちょっとフシギでとってもカラフル！

## 海遊館サテライトギャラリー「海の宝石 ウミウシ展」

かわいいウミウシたちの展示を拡大！10月9日からリニューアル開催！

大阪市港区の海遊館に隣接する商業施設・天保山マーケットプレイス内「海遊館サテライトギャラリー minimini 水族館」にて開催中の「海の宝石 ウミウシ展」を、好評につき、期間を延長し内容を拡大して平成 27 年 10 月 9 日（金）からリニューアルオープンいたします。開催は平成 28 年 4 月 10 日（日）までの予定です。ウミウシ展では、大阪湾などに生息するウミウシの仲間を、ウミウシに特化した展示としては国内でも最大級の規模である約 20 種 100 点展示します。観覧は無料です。



「海の宝石 ウミウシ展」は平成 26 年 7 月 19 日（土）から約 1 年 2 ヶ月にわたり開催してきました。飼育することが難しく、水族館でもなかなか出会えない「ウミウシ」の生態展示はウミウシファンのみなさまにご好評いただき、この度拡大して延長開催をすることになりました。リニューアル後は水槽が 6 基から 10 基に増え展示種数は約 10 種 50 点から約 20 種 100 点となり、より多くのウミウシをお楽しみいただけます。

ウミウシは、不思議でカラフルな姿がとてかわいらしい巻き貝の仲間です。最近では写真集などで紹介される機会も増えてきましたが、水族館などでも出会うことは難しい生き物です。その小さくて愛らしい素敵なウミウシの姿を生で見えて感じていただこうと、生体展示を行うことになりました。

ウミウシは 2~3cm ぐらいの小さい種が多く、動きもゆっくりしています。日本だけでも 1000 種以上、大阪湾にも 100 種以上がいると言われており、その多様性が見る人の心を捉えます。「ウミウシ展」では、大阪湾のウミウシを中心に、人気のあるものから珍しいものまで、種類を入れ替えながら展示を行います。

天保山マーケットプレイスでは、小さな小さな「海の宝石」のようなウミウシの姿をご覧ください、小さな体にフシギが詰まったウミウシへの驚きや発見をお楽しみいただきたいと思います。

(1) 「海の宝石 ウミウシ展」リニューアル開催概要

期 間：平成27年10月9日（金）～平成28年4月10日（日）

時 間：11：00～20：00 ※天保山マーケットプレースの営業時間に準ずる

場 所：天保山マーケットプレース3階 海遊館サテライトギャラリー minimini 水族館

料 金：無料

展示予定：アオウミウシ、アカエラミノウミウシ、ムカデメリベ、シラヒメウミウシなど

※種を入れ替えながら展示を行いますので、時期により上記のウミウシを展示していない場合がございます。

Facebook ページ：<https://www.facebook.com/umiushi.kaiyukansatellitegallery>

(2) 「ウミウシ展」に登場する予定のウミウシたち



【アオウミウシ】体長約3cm

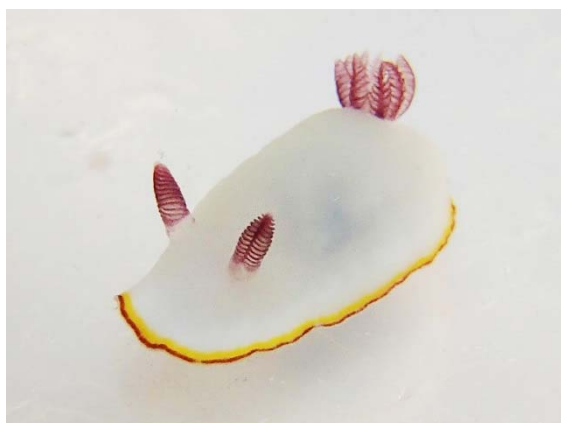
青、赤、黄色の色彩が美しい、最も有名で、人気のあるウミウシ。

昆虫などは触角でまわりのものに触ることが多いですが、ウミウシの触角は水中の化学物質を感知するものなので、ここでおいをかいていると言えます。お尻のところにある花びら状の器官は二次えらといって、ここで呼吸をします。



【アカエラミノウミウシ】体長約1.5cm

赤いひらひらが可愛いウミウシ。ミノウミウシの仲間は背中にある赤いミノ状の突起の先に毒のある刺胞をそなえて身を守っています。



【シラヒメウミウシ】体長約1cm

まさに「雪うさぎ」なウミウシ。成長しても体長1cmの小さな体です。黄色と赤の2色のふちどりをもつウミウシは珍しい姿をしています。内臓がうっすらと透けて見え、まるで「大福の中にあんこ」のようです。



【キカモヨウウミウシ】体長約 2cm

幾何学模様がモダンでかっこいいウミウシ。背中に白いいぼがあり、いぼ以外の部分が不規則な黒い模様になっています。



【コノハミドリガイ】体長約 3cm

自分で光合成できる、生態が非常に珍しいウミウシ。海藻の汁をエサにしており、食べた葉緑体を用い、光合成をして栄養を得ることができます。地球上の動物の中で、共生細菌などの力に頼らず自分で光合成をできるのはコノハミドリガイなど一部のウミウシ類だけとされています。



【ムカデメリベ】体長約 7cm

体の形が非常にフシギなウミウシ。やや大型で、背中に大きな突起が並んでいます。大きな口を覆いかぶせるように使って、ヨコエビなどの小さな甲殻類を食べます。



▲ムカデメリベが大きく口を開けて餌を食べる姿